



大橋 忠弘さん (上塩俣・29歳)



星 秀雄さん (次郎右工門興野・20歳)



司 会 (市農政課・小林主任)

# 座談会 出席者



本永和彦さん (山崎興野・24歳)



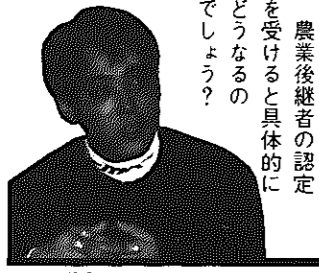
相田和彦さん (根岸・25歳)



田村 進さん (鉢湯2・26歳)



白野利明さん (新飯田横町・20歳)



田辺明寿さん (戸頭・22歳)



星野浩明さん (砂押2・22歳)



高野秀樹さん (犬塚新田・27歳)



川又 悟さん (庄瀬6・27歳)

皆さんのバラエティーに富んだ意見を聞きたい。通常の講座だけでは受け身になりがち。

夢や希望、悩みを話し合える場があればいい。地域には、意外と農業に携わる仲間がいない。

ここで知り合った人たちは大切にしてほしい。農業後継者の認定を受けると具体的にどうなるのでしょうか？

農業や市全体の様子を知る上で勉強になり満足。

特産物づくりをみんな考えていくのもいい。農業技術の情報交換できれば、たいへんメリットがある。

一生懸命出席しました。それに、私の地域では農家の長男はいらなくても、実際に農業に携わっている人はあまりいません。それで仲間を求める意味もありました。今、田村さんが「仲間を求める意味もあった」と話されましたが、仲間づくりも講座の目的の一つです。この点についてどう考えていますか。

「積極的」がおもしろい。市では、農協や農業改良普及所などと協力しながら、農業後継者を育てるための事業を進めています。毎年開設している農業大学講座もその一つです。講座では、主に学校を卒業して農業に取り組み始めた青年を対象に、将来、市農業の担い手として活躍できるよう、農業技術の指導や仲間づくりのための研修を行っています。2月1日、2日に妙高赤倉で行われたスキ研修では、これからの講座をより有意義なものにするため、参加した講座生10人に意見や要望などを聞きました。若者たちの積極的な生の声を紹介します。なお、ただいま来年度の講座生を募集中です。参加したい人は6ページをご覧ください。

皆さんといっしょに考える講座。司会 これまで皆さんといっしょに考えて農業大学講座の事業を進め、本年度も今回のスキ研修が最後になりました。これまでの感想や意見、要望などをお聞かせいただき、来年度以降の参考にしていきたいと思えます。ただ講座を受けてそれで終わるといって、皆さんの若い感覚で白根の農業を考え、盛り上げていくんだという気持ちで、積極的な発言をお願いします。まず、講座を受けてどう感じたか。率直に話してください。

一年間で参加者が半分に減った。私は昨年引き続いて参加していますが、昨年からは講座を受けると市の農業後継者として認定されることになったわけですね。それでその年は七、八十人集まりましたが、今年は半数くらいに減ってしまった。やめていった人達にとって、講座は後継者認定のためのものではなく、自分から進んでほしい。でも、来る人は自分から進んでほしい。よって来ています。人それぞれ考え方ややり方が違いますし、難しいものですね。

## 農業大学講座・座談会



受け身に受けたらならない。それなら積極的に学ぼう。それなら積極的に学ぼう。

## 「積極的」がおもしろい

市では、農協や農業改良普及所などと協力しながら、農業後継者を育てるための事業を進めています。毎年開設している農業大学講座もその一つです。講座では、主に学校を卒業して農業に取り組み始めた青年を対象に、将来、市農業の担い手として活躍できるよう、農業技術の指導や仲間づくりのための研修を行っています。2月1日、2日に妙高赤倉で行われたスキ研修では、これからの講座をより有意義なものにするため、参加した講座生10人に意見や要望などを聞きました。若者たちの積極的な生の声を紹介します。なお、ただいま来年度の講座生を募集中です。参加したい人は6ページをご覧ください。